

特定本邦航空運送事業者（※）に関する航空輸送サービスに係る情報公開（平成24年4～6月）のポイント

※特定本邦事業者

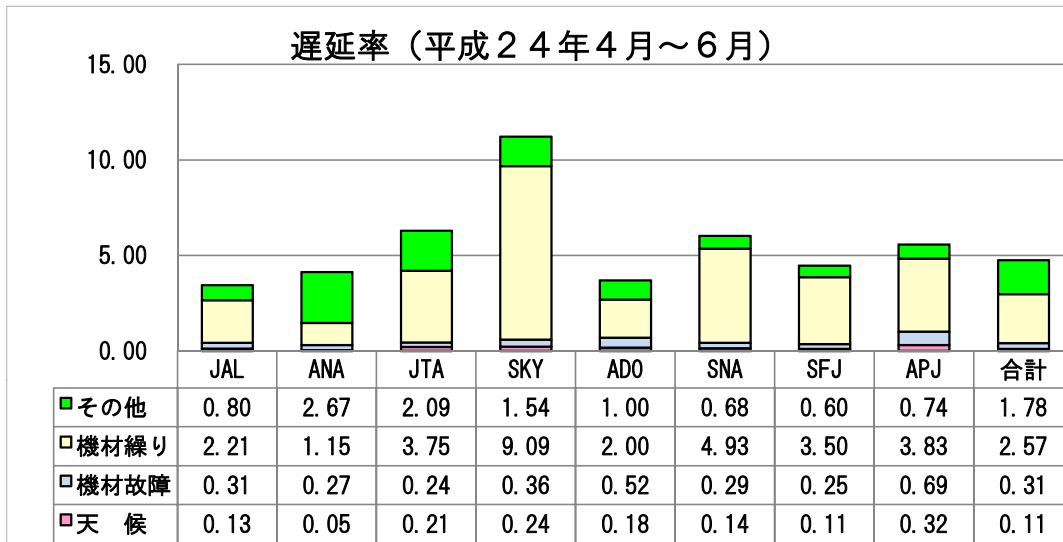
- 日本航空：JAL（日本航空、ジェイエア、ジャルエクスプレス）
- 全日本空輸：ANA（全日本空輸、ANAウイングス）
- 日本トランスオーシャン航空：JTA
- スカイマーク：SKY
- AIRDO：ADO
- スカイネットアジア航空：SNA
- スターフライヤー：SFJ
- Peach Aviation:APJ

1. 輸送サービスの比較等に関する情報

(1) 遅延率（平成24年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
4.70%	4.20%	0.50ポイント増加

※備考「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。

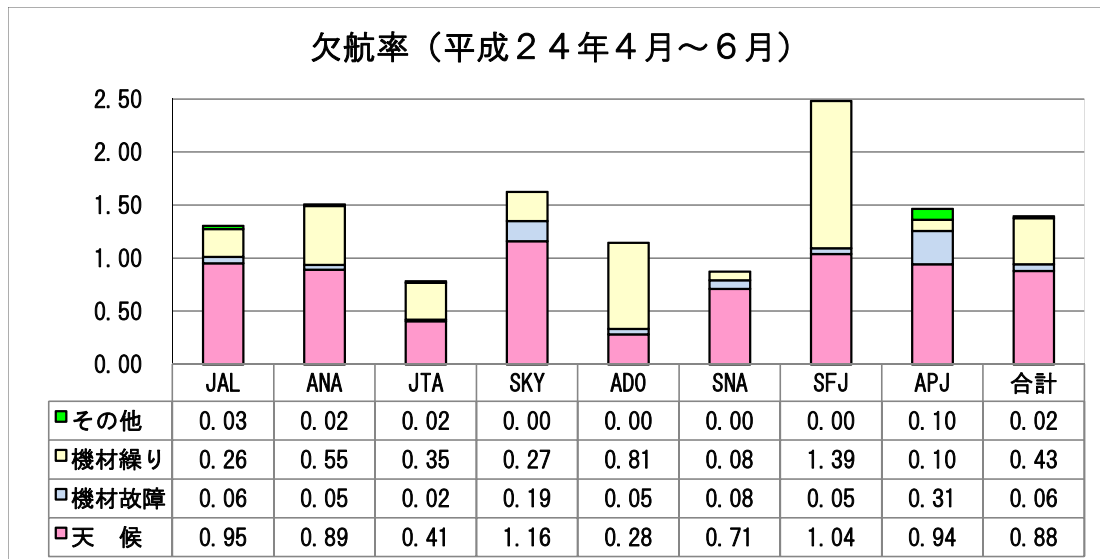


※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

※Peach Aviation3月分の実績

(2) 欠航率（平成24年4月～6月）

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.41%	0.86%	0.55ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。（夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。）

2. 運賃関連情報

(1) 輸送実績（平成24年4月～6月）

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	911	903	0.93%増
輸送人員	1895万8938人	1595万5947人	18.82%増
輸送人キロ	172億713万人キロ	144億142万人キロ	19.93%増
旅客収入	2825億58百万円	2526億93百万円	11.82%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.9千円	15.8千円	-5.89%減
輸送人キロあたり 旅客収入	16.4円	17.5円	-6.76%減

(2) 路線別データ（平成24年4月～6月）

①旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位	東京＝札幌	204万3264人
2位	東京＝福岡	180万7941人
3位	東京＝大阪	122万1343人
4位	東京＝那覇	105万2727人
5位	東京＝鹿児島	50万3371人
	全路線	1876万8482人

②利用率

上位5路線は次のとおり。

1位	那覇－岡山	83.1%
2位	大阪－那覇	83.0%
3位	札幌－青森	75.7%
4位	札幌－花巻	75.1%
5位	東京－石垣	74.8%
	全路線	59.5%

下位5路線は次のとおり。

1位	東京－大島	25.5%
2位	成田－新潟	26.8%
3位	関空－旭川	29.4%
4位	成田－神戸	30.5%
5位	福岡－宮崎	32.7%
	全路線	59.5%

3. フレックストラベラー制度（※）に関する情報

平成24年4～6月における、フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合（1万人あたり）が高かった上位3社は次のとおり。

（※）オーバーセールス（搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること）の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 （1万人あたり）	
		当期実績	前期実績
①	スターフライヤー	1.28人	1.64人
②	日本航空	1.24人	1.11人
③	全日本空輸	0.92人	0.61人
	全社平均	0.57人	1.27人